

令和8年度

かごしま農福連携 技術支援者育成研修 受講者募集！！



農福連携技術支援者とは、農業と福祉に関する実務的な知見を有して、農福連携を現場で実践する手法を具体的にアドバイスする専門人材のことです。修了試験を含む全ての研修課程を受講し、農林水産省から、必要な知識と技能を身につけたと認められた方は、研修修了者となり、「農福連携技術支援者」（農林水産省認定）として活動することができます。

参加対象

農福連携の支援に関わっている方、またはこれから関わろうとする方

※農業者、障害福祉サービス事業所職員、自治体職員（OB含む）、JA等関係機関・団体職員、特別支援学校等の教諭等

定員

20名程度

参加費用

無料 ※離島から参加される方に対する旅費の助成制度（補助率3分の1以内、その他要件あり）がありますので、事前にご相談ください。

申込方法

二次元コードもしくは以下URLからお申し込みください

申込みURL：<https://forms.gle/NS92o98BNw8RgSoz9>

※希望者多数の場合、調整させていただきますのでご了承ください



締切

令和8年9月18日（金）17時 ※時間厳守

受講者 決定の連絡

申込者全員に9月25日(金)までにメールでご連絡いたします

※連絡がない場合は、下記問合せ先までご連絡ください

講師

高草 雄士

ノウトク（農福連携特例子会社連絡会）代表
一般社団法人ノーマポート 代表理事



特に企業参入型農福連携の普及啓発に注力し、農林水産省主催の農福連携技術支援者育成研修や自治体向けセミナー講師を担当。障害を才能に変える方法を反射や感覚といった身体的視点から研究している。著書に『ノウフク大全』（創森社）・『障がい者はノウフクでもっと輝ける！』（弘文堂）などがある。

田中 基次

株式会社リーフエッチ
株式会社あまみめぐり 代表取締役



琉球大学農学部、信州大学医学部保健学科卒業。作業療法士として精神科病院や訪問看護に従事後、奄美大島で就労継続支援B型「あまみん」を設立。農福連携による6次産業化やアロマオイル製造、島内循環型農業に取り組む。農林水産省農福連携技術支援者3期生。

小淵 久徳

社会福祉法人ゆずりは会 理事



群馬県出身。障害福祉サービス事業所「菜の花」施設長。障害のある方が農業を通じて自立し、高工賃を実現できる仕組みづくりを推進。先進的な実践が評価され、「自然栽培パーティ」関東ブロックリーダーや農福連携技術支援者として、全国で農福連携モデルの普及・指導に携わる。

牧原 知広

社会福祉法人白鳩会 総務主任



鹿児島県錦江町出身。社会福祉法人白鳩会や農事組合法人根占生産組で福祉・農業の現場を経験し、2022年に白鳩会へ再入職。施設整備や林福連携、業務効率化を担い、利用者・職員が働きやすい環境づくりを推進。花の木農場では6次産業化にも携わり、「ノウフク・アワード2020」グランプリ受賞に貢献。

天野 雄一郎

特定非営利活動法人たがやす 理事
大隅半島ノウフクコンソーシアム 事務局長



福岡県生まれ。北九州市立大学卒業後、JTB勤務を経て2015年に鹿児島県大隅半島へ移住。白鳩会「花の木農場」での実践を経て独立し、大隅半島ノウフクコンソーシアム事務局長、NPO法人たがやす理事として活動。日本農福連携協会アナリストとして研修・講演や自治体支援を行い、地域と政策をつなぐ実践者として全国の農福連携推進に取り組む。

茶園 武志

株式会社EN WATER FARMS 代表取締役



就労継続支援B型事業所を併設し、障がいのある方々が日常的に農作業に従事する。水耕栽培という整った環境の中で、支援技法・作業マッチング・安全配慮などが体系的に行われており、栽培品（小松菜など）を原料とした餃子・スムージーなどの商品開発にも取り組む。「農+福+商」の複合的な経営モデルとして、地域の高齢者や子どもも巻き込んだ交流イベントや開かれた農園づくり、まちづくりを展開中。



主催：鹿児島県農政部 経営技術課 経営体育成係

問合せ先：NPO法人たがやす（担当：天野・福留）

☎ 080-5257-3091 @ nouhuku.tagayasu@gmail.com

研修概要

研修は、農福連携技術支援者として必要不可欠な基礎的かつ実務的知識を習得する座学講義（eラーニング）の「第1講座」、実際の現場で必要となる実務的な技法を習得する座学講義・グループワーク・実地研修・修了試験の「第2講座」の二部構成で実施します。

オリエンテーション

10月 1日(木)10:00～11:00

(オンライン開催)

10月15日(木)14:00～15:00 ※いずれかの日程でご参加ください

第1講座

座学講義（eラーニング）・確認テスト

受講期間：10月19日(月)～11月6日(金)

内容：①農福連携概論、②社会福祉や障害者雇用・障害福祉サービス事業等に関すること
③農業や農業経営等に関すること、④確認テスト

※各自が上記の受講期間中の視聴可能な時間に受講し、かつ、確認テストまで受けて、回答を提出してください。受講期間中に確認テストの回答が提出されなかった場合、又は確認テストの結果、必要な知識を身に付けたと認められない場合については、第2講座を受講することができませんので、ご注意ください。



第2講座

座学講義・グループワーク・実地研修・修了試験

実施期間：11月24日(火)～11月27日(金) ※全日程の参加が必須です

会場：ホテルウェルビューかごしま（鹿児島市与次郎2丁目4-25）

実地会場：株式会社EN WATER FARMS（鹿児島市川田町2023-1）

※実地会場への移動には、バスを用意しております

①11月24日（火）9:00～16:30

【開校式・自己紹介】

【座学】障害特性に対応した農作業支援技法（講師：牧原知広、田中基次）



②11月25日（水）9:00～17:15

【座学】農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法（講師：高草雄士）

【座学】農福連携技術支援者の役割と実践事例（講師：田中基次、天野雄一郎、小淵久徳、高草雄士）

③11月26日（木）9:00～17:15

【実地研修】農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法（講師：高草雄士）

④11月27日（金）9:00～16:00

【実地研修】障害福祉サービス事業の運営の実務（講師：茶園武志）

【総括】農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法（講師：高草雄士）

【修了試験・閉校式】

注意事項

- (1) 第2講座では、ビニルハウス内での作業も想定されるため、体調面、体力面において不安のある方の受講は控えていただきますようお願いいたします。
- (2) 第2講座の最終日に実施する修了試験を受け、必要な知識と技能を身に付けたと認められる受講者を研修修了者として認定します。
- (3) 農福連携技術支援者（農林水産省認定）は、国家資格ではありません。



主催：鹿児島県農政部 経営技術課 経営体育成係

問合せ先：NPO法人たがやす（担当：天野・福留）

☎ 080-5257-3091 @ nouhuku.tagayasu@gmail.com